

# 1. 学生とともに進めるまちづくり

## 武蔵女子大生の新たな挑戦

～笑顔と楽しさをモットーに、緑あふれる明るいまちを目指して～

北海道武蔵女子短期大学ライラック学生会執行部 ボランティア委員会 委員長 むねいし まさみ 宗石 雅美

### 【はじめに】

私たち、北海道武蔵女子短期大学ボランティア委員会では、地域社会との交流を重点におき、大学周辺のボランティア活動を率先して行っています。また、ボランティア活動の経験を通して、その楽しさややりがいを武蔵の学生全体に広めていくことを目的としております。

日々の活動としては月に一度、大学から北24条駅にかけてのゴミ拾い、町内や区役所で行われるイベントの参加です。百合が原音楽祭の運営に携わったり、北☆ガクアートフェスティバル実行委員として他大学と共にイベントの準備を進めました。その他、北警察署の方とともに防犯の呼びかけ運動、町内の方と花植え・子ども神輿祭り・アイスクャンドル作り、ちあふる・きたのボランティア参加など活動は多種にわたりおこなっています。

地域の皆さんとの交流は私達学生にとっても、刺激的でボランティア活動ひとつひとつが学びにつながっていると感じます。



北☆ガクにてバルーンアート作り



町内の子供たちと神輿をかついで練り歩きました



軍手をはきゴミ袋を持って、いざごみ拾いへ！

### 【花まちづくりプロジェクト】

平成26年は新たに「花まちづくりプロジェクト」という試みにも挑みました。これまでは何かに特化して活動するというよりも、地域ですでに決まっている活動のお手伝いをするのが多くありました。「武蔵の学生が主体となって自ら地域のために役立つ活動を実施していきたい！」「今年から新しい一歩を踏み出したい！」という熱い思いからこのプロジェクトを実施いたしました。

### 【プロジェクトの具体的内容】

大学の校門近くに、主として多年草であるアナベル、亜麻、ハーブ類を植え、本学外構管理の造園業者や北区土木センター職員の方々のご指導のもと少しずつ花壇の範囲を広げていこうと思っています。将来的に育てた亜麻から採取する種やハーブを株分けしたものを、市民の皆さんにプレゼントし、花を通して交流を深めていきたいです。

学生たち自らが進んで花を育て、緑豊かな街並みの形成を目指し、かつ地域の方々とより密接に交流を図るとともに、花の種、株の収穫及び配布を通してこの活動と花の街並み形成の広がりを目指していきます。

### 【皆さまの支えにより】

初年度は、土木センター職員の方々、北区役所地域振興課の方々のご協力のもと花を咲かせることが出来ました。最初ということもあって苗が枯れないよう毎日の水やりは欠かせず大変な面もありました。まだ大きくないので猛暑の日には葉に元気がないこともあり、特にアナベルは咲くかどうか心配していました。委員56名全員が交替で管理した甲斐あってきれいな花を咲かせ、日々私たちの活動を見てくださっていた地域の方から「咲いて良かったね」「毎日頑張っているね」と嬉しいお言葉いただきました。花の数はまだ少なく、地面の土色が目立ちましたが今後はより大きく成長した多年草のアナベル・亜麻・ハーブを地域の皆さまに見ていただきたいと思っております。



6月ごろから  
プロジェクト  
開始



力を合わせて  
苗植えをしました。

### 【ボランティア活動を通して】

わたしがボランティア活動を始めたきっかけはごく単純でした。友人に誘われて興味本位で参加したことから、誰かに「ありがとう」と言われる嬉しさと、自分のやりがいを求めてまた参加するようになりました。

大学では、同じ年代の学生と話すことがほとんどですが、ボランティアに行くと年齢も様々で今までにあったことのない人との出会いがたくさんあります。価値観や考え方の違いに気づかされることもあって、そのたびに自分の世界観が広がったような感じがしました。

今後たくさんの人に笑顔を届けるため、そして二年間という短い学生生活でしか得られないものを求めて、私たちは日々いろいろなことに挑戦していきたいと思います。今できることを最大限に楽しみながらこれからも武蔵の学生はがんばります。



私たちが活動できるのは地域の皆さまあってこそです。  
今後ともよろしく願いいたします。

#### ○お問い合わせ

北海道武蔵女子短期大学  
札幌市北区北22条西13丁目  
TEL.011-726-3141  
メール  
volunteer.hmjc@gmail.com